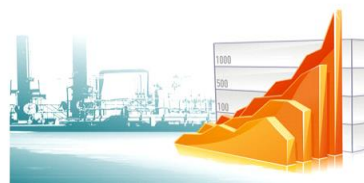


ぎふ経済レポート



令和7年5月分
岐阜県商工労働部

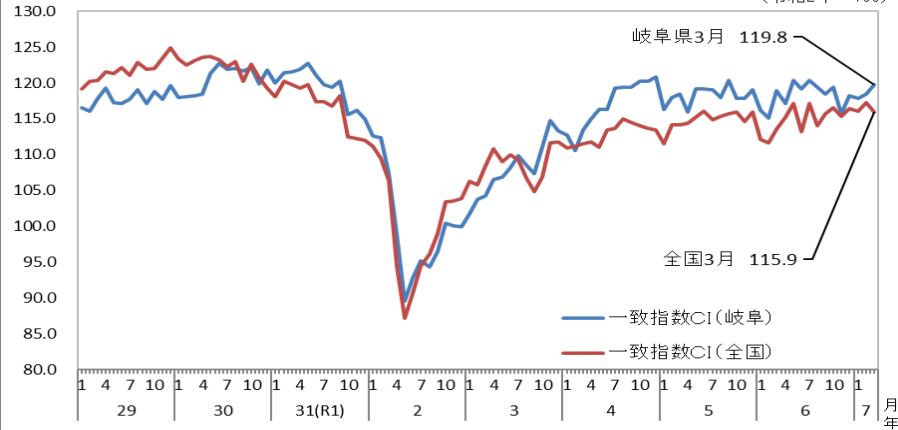
※企業等へのヒアリングは5月26日～28日を中心に実施し、6月24日時点で作成。

景気動向

○3月の景気動向指数(一致指数)は、119.8
で前月比1.3ポイント上昇となった。
○4月の県内中小企業の景況感は、▲23.0で
前月比1.0ポイント上昇となった。

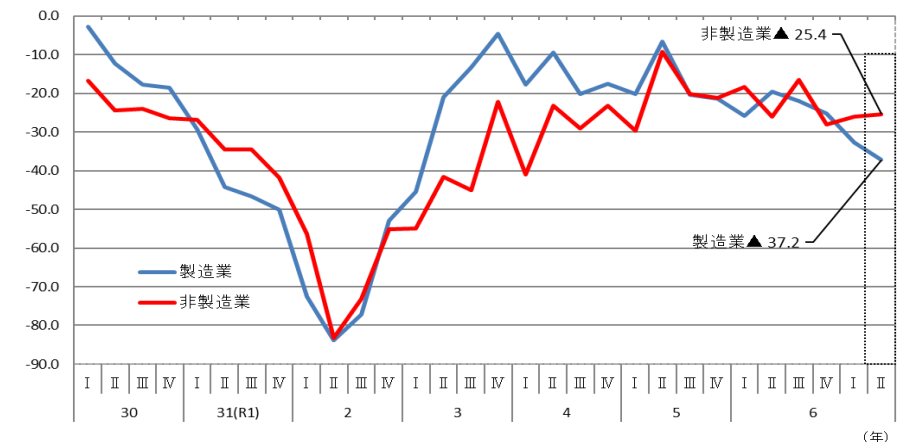
○4-6月期の景況DI実績は、製造業で前期比
▲4.4ポイント、非製造業で同0.7ポイント上
昇となった。売上高DI実績は、製造業で前期比
▲2.6ポイント、非製造業で同6.9ポイント上
昇となった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



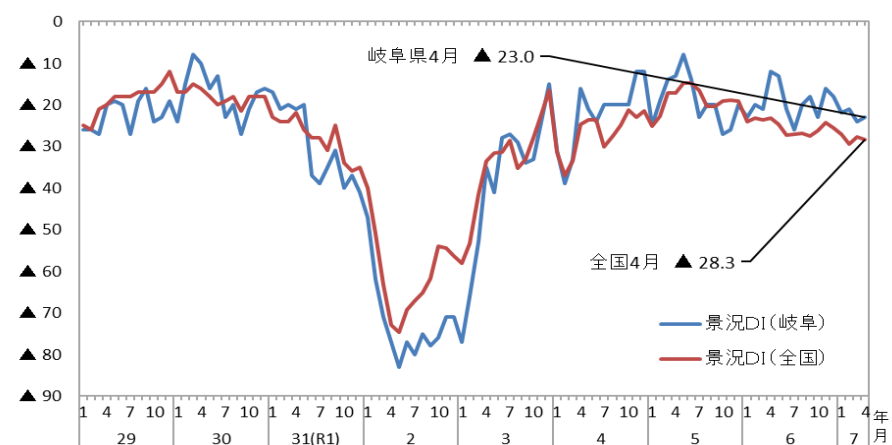
資料:県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



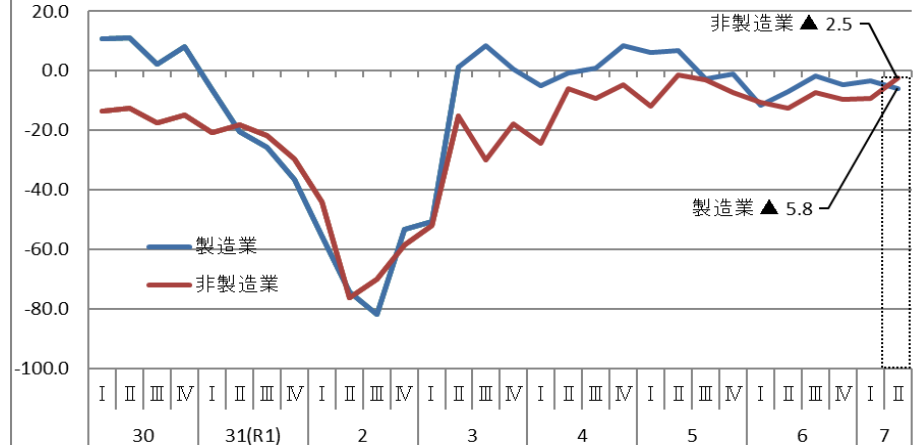
資料:(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料:岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料:(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

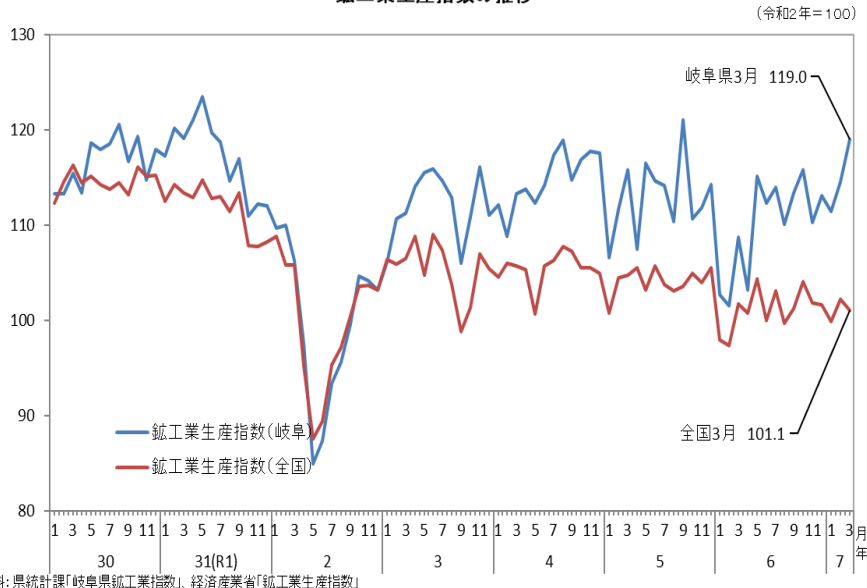
製造業

○3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、119.0で前月比3.8%上昇となった。

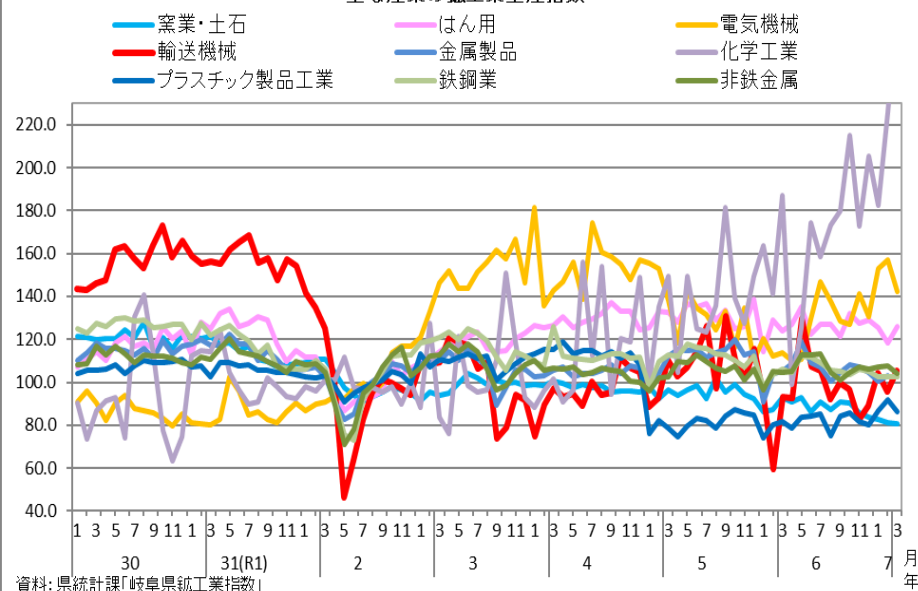
○産業別の前月比では、化学工業、輸送機械、はん用、金属製品で上昇した一方で、電気機械、プラスチック製品、非鉄金属、窯業・土石、鉄鋼業で低下した。

○3月の主な産業の指数は、化学工業で前月比22.3%、輸送機械で同10.5%、はん用で同6.4%、金属製品で同0.2%上昇となった。一方で、電気機械で同▲9.2%、プラスチック製品で同▲5.9%、非鉄金属で同▲3.5%、窯業・土石で同▲1.7%、鉄鋼業で同▲0.1%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数



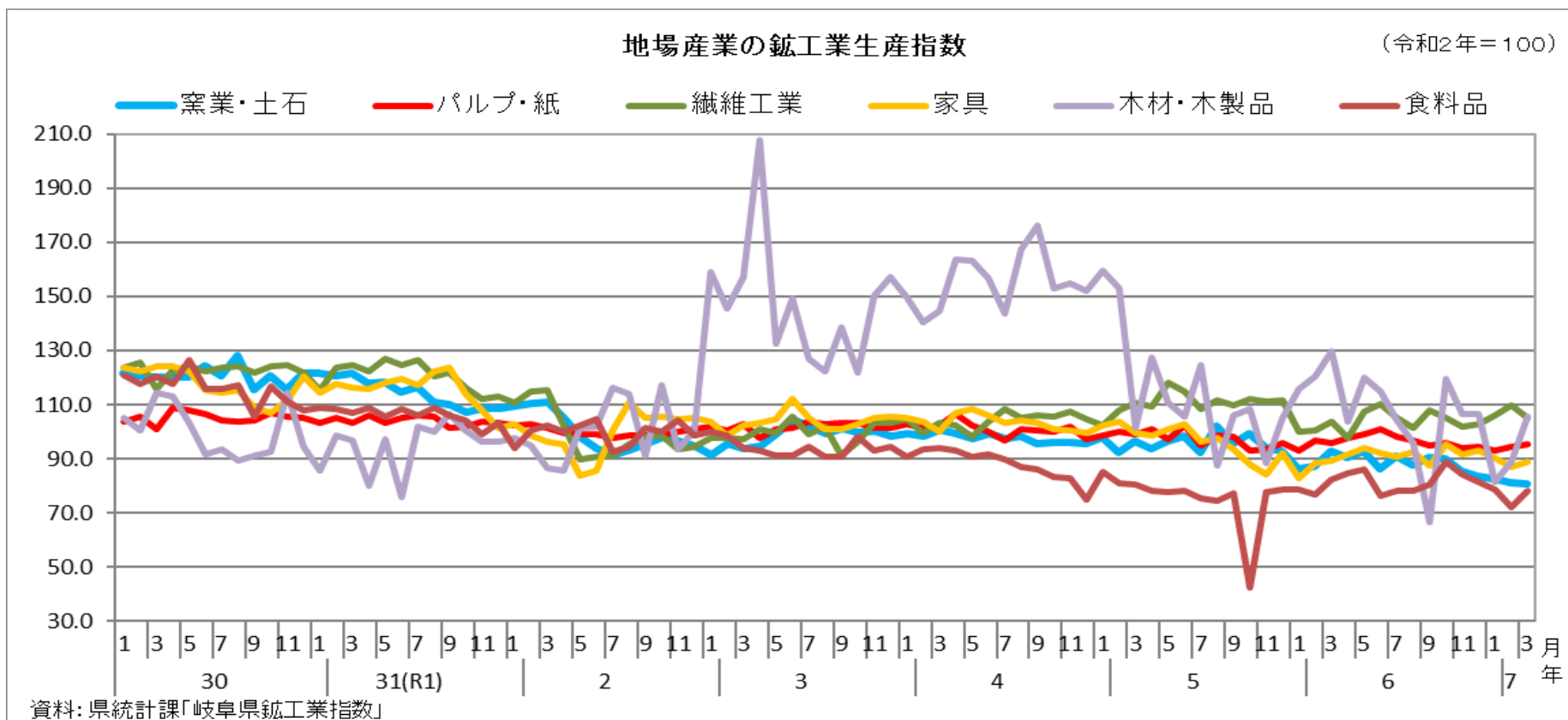
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 自動車部門について、東南アジア方面が少し減っていると取引先のメーカーからは聞いているが、それほど影響があるほどではない。アメリカ向けは減っておらず、全体としては横ばい。(輸送用機械器具)
- ◆ 市場規模が大きいインド、パキスタン情勢が悪化しており米国関税以上に心配している。(輸送用機械器具)
- ◆ 精密プレス部品事業については金属プレス部品の受注が減っているため撤退し、プラスチック成型事業に業務を集中させることとした。(電気機械器具)
- ◆ 自動車売れなくなっているため、国内市場が縮小し業界全体で受注が減っている。(非鉄金属)

製造業－2

○3月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比19.2%、食料品で同8.4%、家具で同2.2%、パルプ・紙で0.8%上昇した一方で、繊維工業で同▲4.1%、窯業・土石で同▲0.9%となった。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 販路拡大やインバウンドの需要が好調なことを背景に、売上は増加傾向にある。(刃物)
- ◆ キャラクター製品が比較的売れているが高価格帯製品の売れ行きが良くないため、売上は前年比で減少し、利益面も赤字となった。(陶磁器)
- ◆ 高齢化による廃業が多く、企業数も減っており、業界全体の縮小が続いている。(繊維・アパレル)

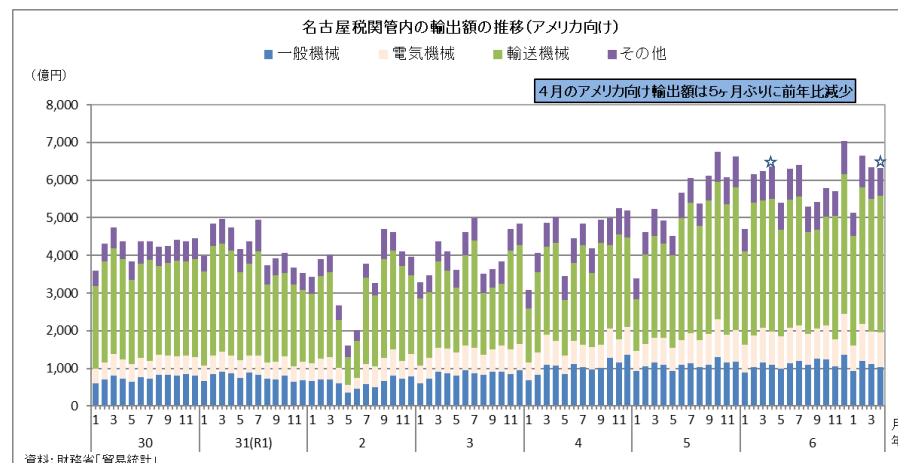
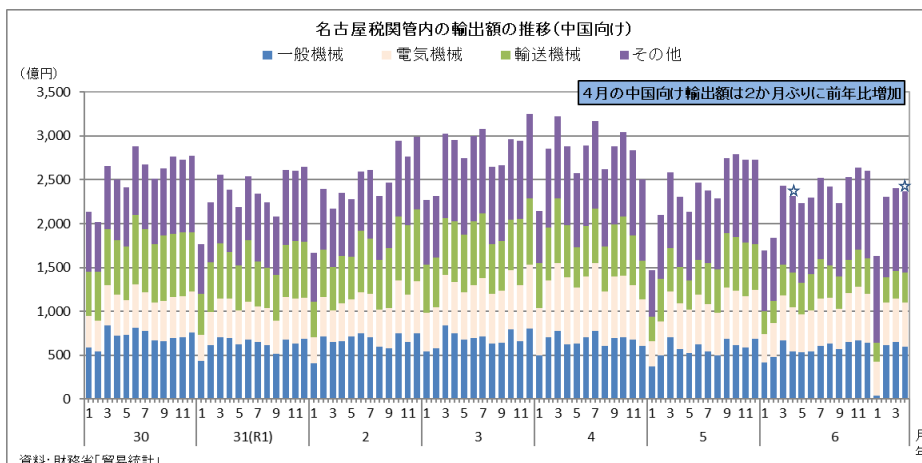
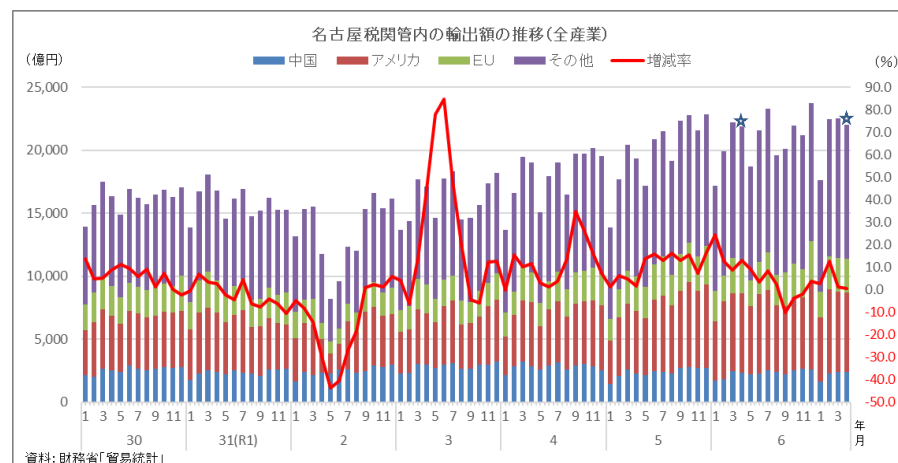
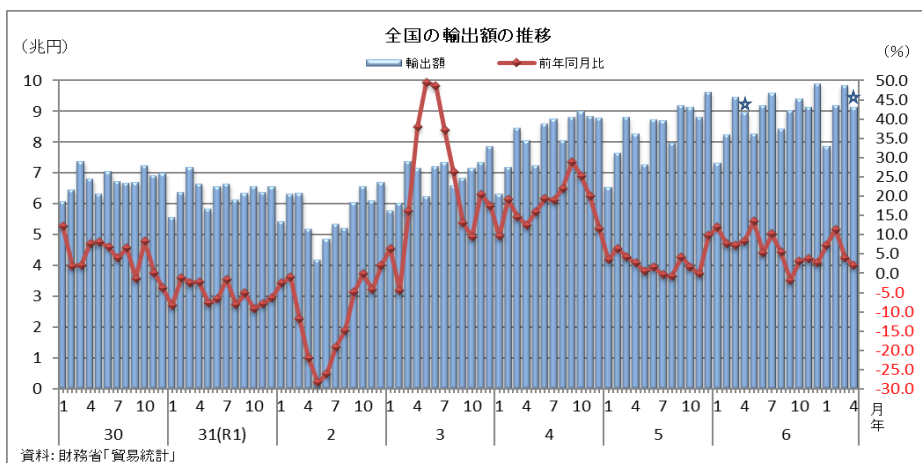
輸 出(名古屋税関管内)

○4月の輸出額(全国)は、9兆1,571億円で前年同月2.0%増加となった。

○4月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆2,024億円で前年同月比0.7%増加となり、5ヶ月連続で前年同月を上回った。

○中国向けは、全体で前年同月比2.3%増加となった。その内、一般機械で同10.5%、電気機械で同0.6%増加した一方で、輸送機械で同▲14.7%となった。

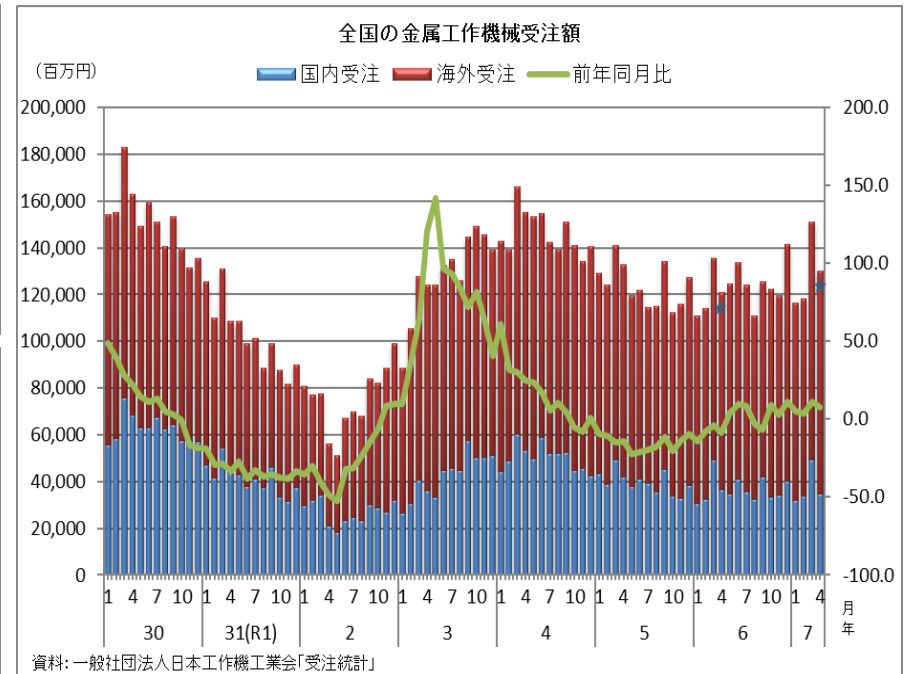
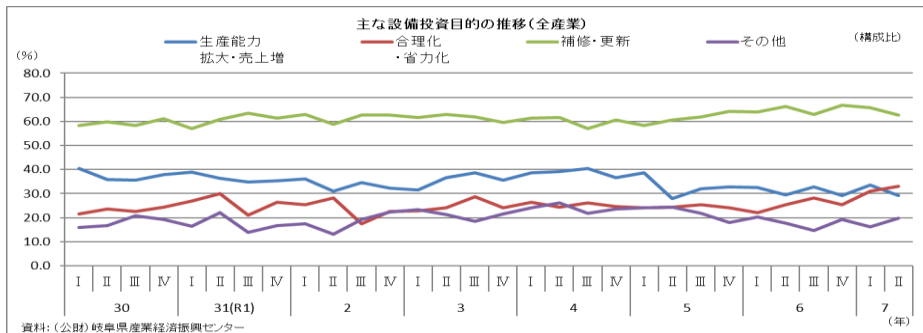
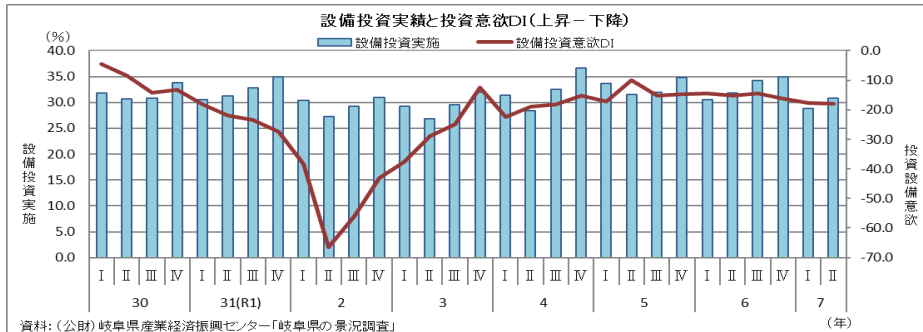
○アメリカ向けは、全体で前年同月比▲0.5%となった。その内、電気機械で同4.8%、輸送機械で同2.7%増加した一方で、一般機械で同▲6.3%となった。



設備投資

○4－6月期の設備投資実施実績は前期比2. 0ポイント、設備投資意欲DI実績は同0. 6ポイント上昇となった。設備投資実施実績の目的別では、「合理化・省力化」で前期比1. 9ポイント増加した一方で、「生産能力拡大・売上増」で同▲4. 4ポイント、「補修・更新」で同▲3. 2ポイントとなった。

○4月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比7. 7%増加と7ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同13. 3%増加と7ヶ月連続で前年同月を上回り、国内受注は同▲5. 4%となった。



現場の動き

- ◆ 大きな動きはなく、IT投資など事業効率化を目的とした積極的な投資はあまり見られない印象。(金融機関)
- ◆ 大きな設備投資が終わったため、しばらくは大規模な設備投資の予定はない。(輸送用機械)
- ◆ 現状では受注量の増加がないため、部分的な設備を省エネタイプへの変更に留める計画。(輸送用機械)
- ◆ 市場が厳しさを増す中で、効率的な業務を行うためには外注する方が適当と考える事業者が多く、自前で設備を整備するよりも、外注するケースがほとんどとなっている。(繊維・アパレル)

為替・原油・原材料価格の動向に伴う経済変動の影響について

- ◆ 価格の低かった中国製工作機械も現在ではかなり価格が高くなっており、中小企業が設備投資に踏み切れない原因となっている。(非鉄金属)
- ◆ 価格転嫁を十分に実施するにはハードルが多く、業況が好転するまでは内部のコスト管理で吸収していくしかない。(生産用機械)
- ◆ 取引先へ価格転嫁できず採算が悪化する分は、本業以外の事業でカバーしている。(紙)

米国による関税措置について

- ◆ もしアメリカへの輸出が減少した場合は、アメリカ向けのラインの工員を減らすことなどを検討しているが、現時点ではそうなるか不確かなため、様子見をしている。(輸送用機械器具)
- ◆ アメリカの自動車部品を製造している子会社も、日本から半製品の形で輸出したものを使用しているため、関税が増えれば撤退も視野に検討する必要がある出てくる可能性もある。(輸送用機械器具)
- ◆ はっきりしない関税政策の影響を様子見として、取引先が生産調整することが予想され、一時的な受注減少となる恐れがある。(生産用機械)
- ◆ 米国関税の影響によるものかは分からないが、海外向けメーカーからの受注が大幅に減少した。(はん用)
- ◆ 海外の取引先もあるため、影響を懸念しており状況の把握に努めてはいるが、不明な点が多く、対応に苦慮している。(刃物)
- ◆ 米大統領の発言一つで為替に影響が出るので、輸入材料の価格に影響することを懸念している。(木工)

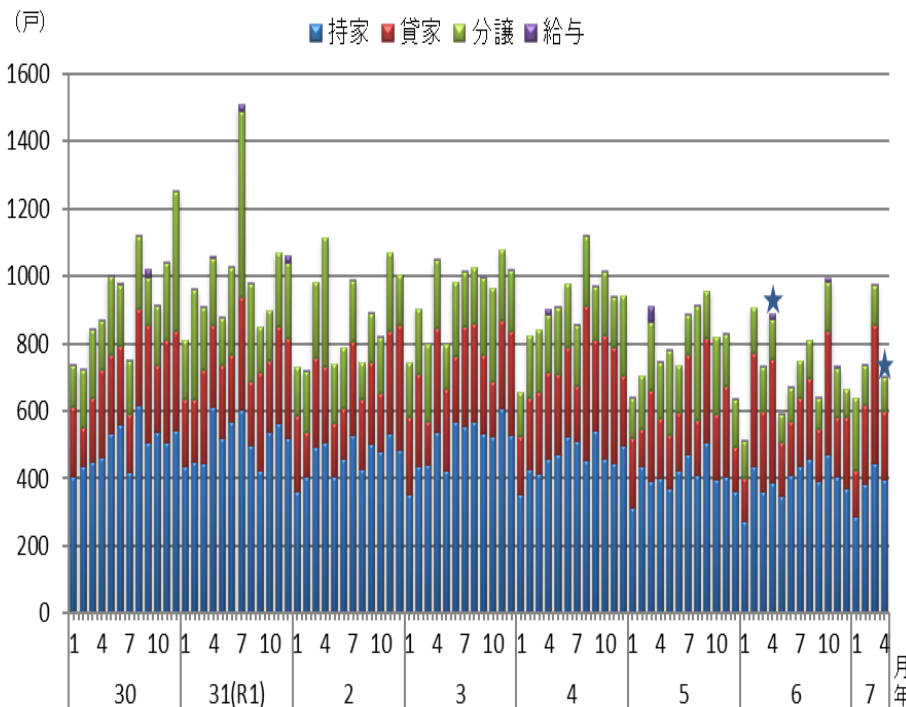
住宅・建築投資

○4月の住宅着工戸数は、前年同月比▲21.3%となった。

○持家で前年同月比2.3%増加した一方で、貸家で同▲44.7%、分譲で同▲17.5%となった。

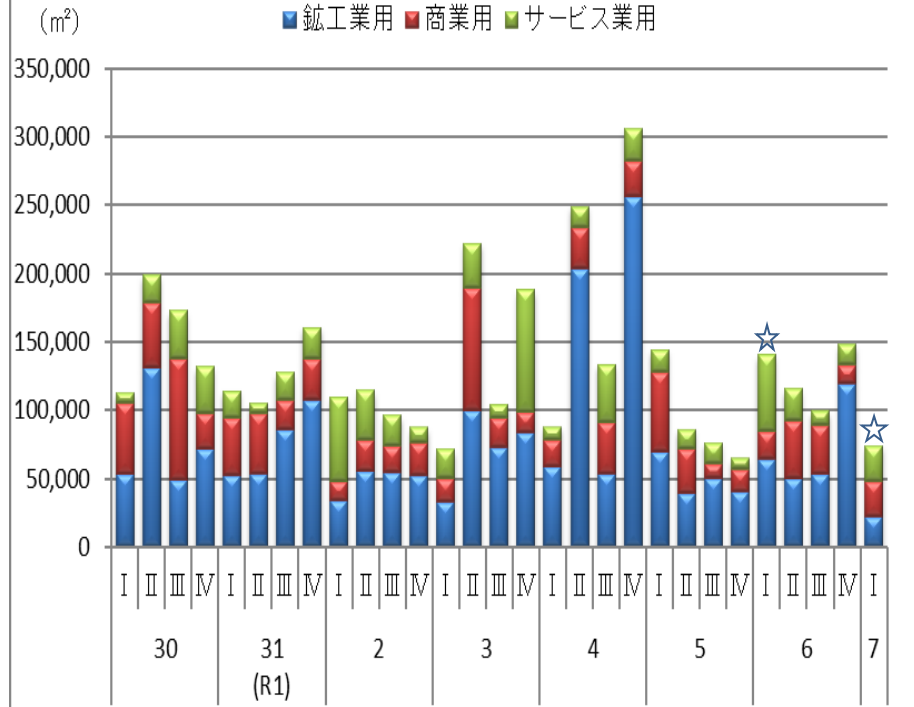
○1－3月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同期比29.6%上昇した一方で、鉱工業用で同▲65.2%、サービス業用で同▲54.1%となり、全体で同▲47.2%となった。

新設住宅着工戸数の推移



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

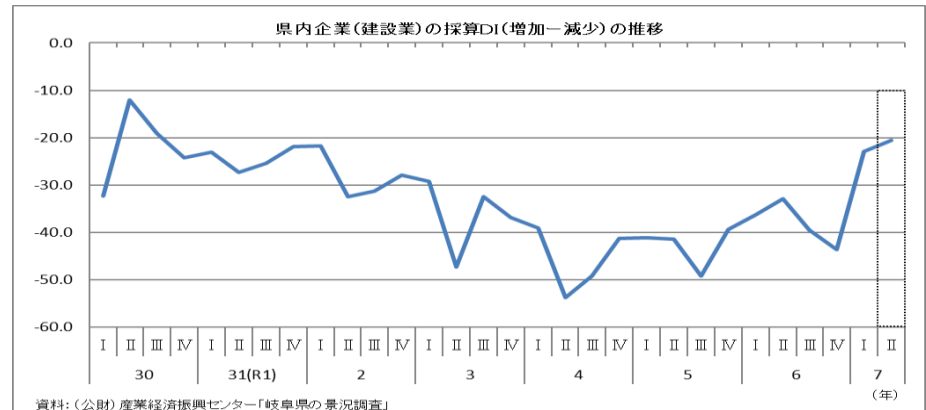
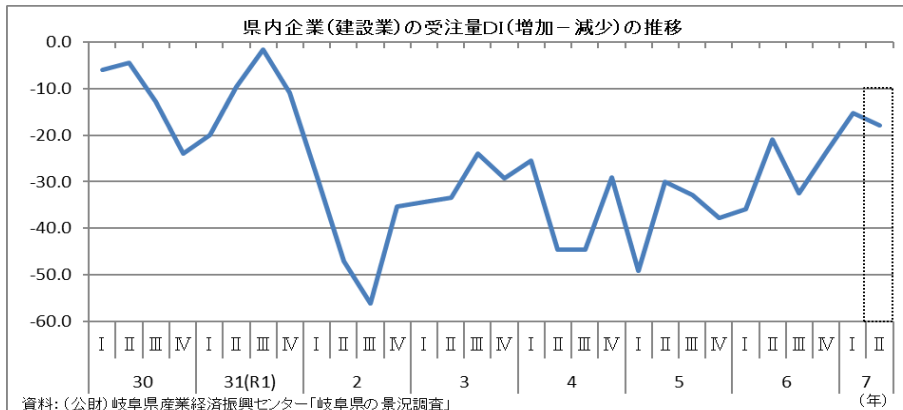
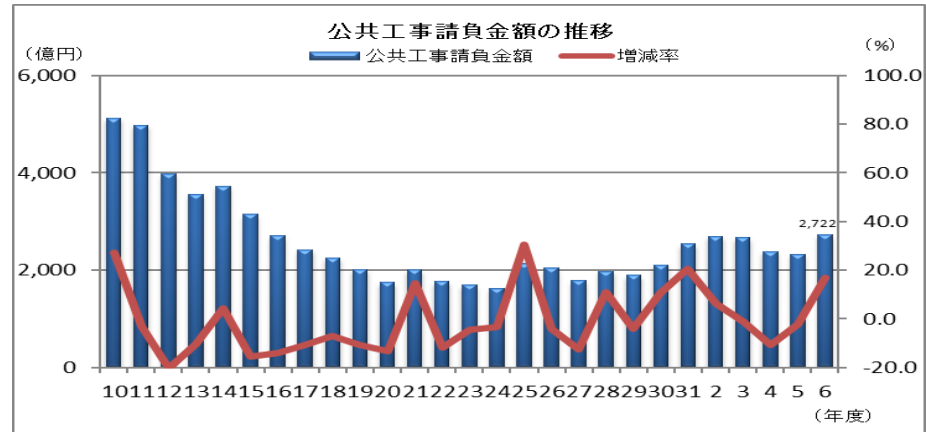
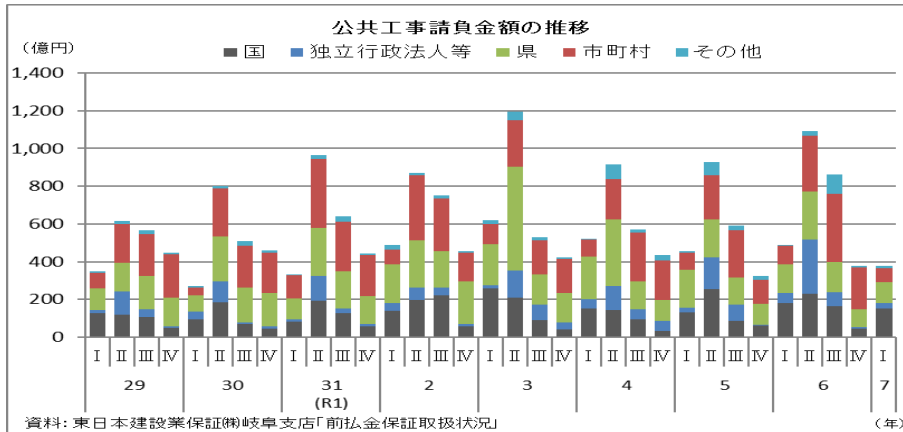
(年)

現場の動き

- ◆ 住宅以外の物件について、価格上昇が原因で着工数が伸びないため、木製品の販売量が上がらない。(卸売)
- ◆ 予算的に余裕のない客層は住宅建築を先送りしている状況であるが、予算的に余裕のある客層についても、他社と比較して検討するという方が多く、契約数が伸び悩んでいる。(住宅)
- ◆ 予想通り新築木造建築の受注が少ない。昨年も少なかったが、令和7年度はさらに厳しい。(卸売)

建設工事

- 1－3月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比▲43.1%、県で同▲28.8%、国で同▲16.0%となり、全体で同20.5%増加となった。
- 県内建設業の4－6月期の受注量DI実績は前期比▲2.5ポイントとなり、同採算DI見通しは同2.3ポイント上昇となった。



現場の動き

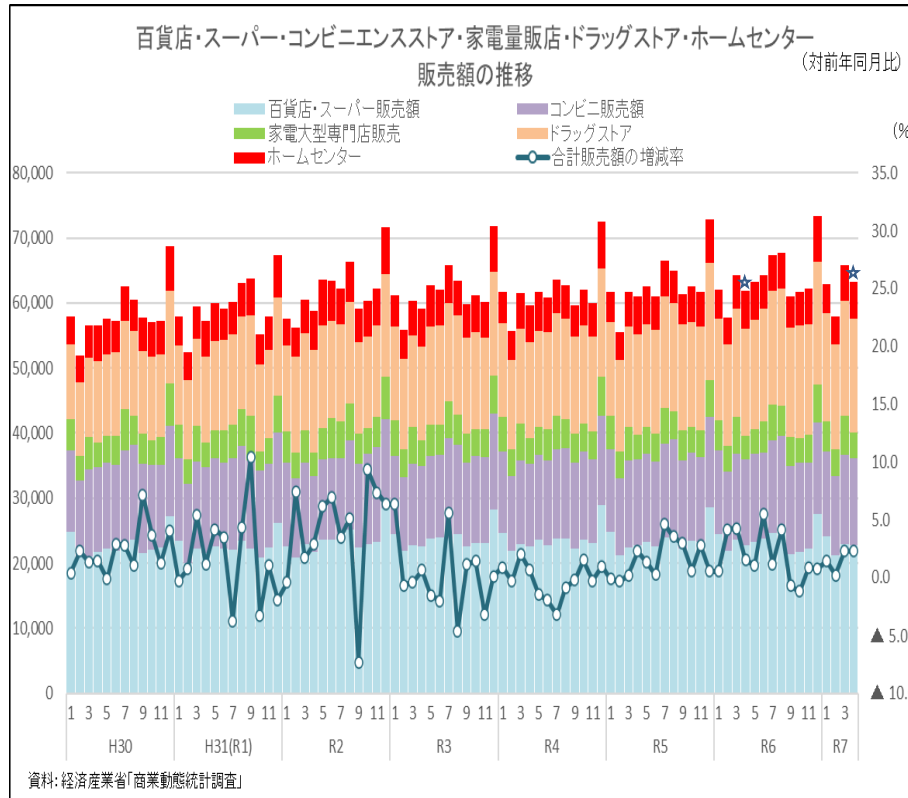
- ◆ 新年度が始まったものの、まだ受注が足りていない状況。
- ◆ 材料単価の格差は縮まっておらず積算単価が市場単価に追いついていない状況が続いている。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○4月は家電大型専門店で前年同月比10.3%、ドラッグストアで同5.9%、コンビニで同1.4%上昇した一方で、ホームセンターで同▲1.3%、百貨店・スーパーで同▲0.1%となり、全体で同2.3%上昇となった。

○4月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比6.8%上昇と4ヶ月連続で前年同月を上回った。軽自動車は同28.4%上昇と4ヶ月連続で前年同月を上回った。合算では同13.2%上昇と、前年同月を4ヶ月連続で上回った。

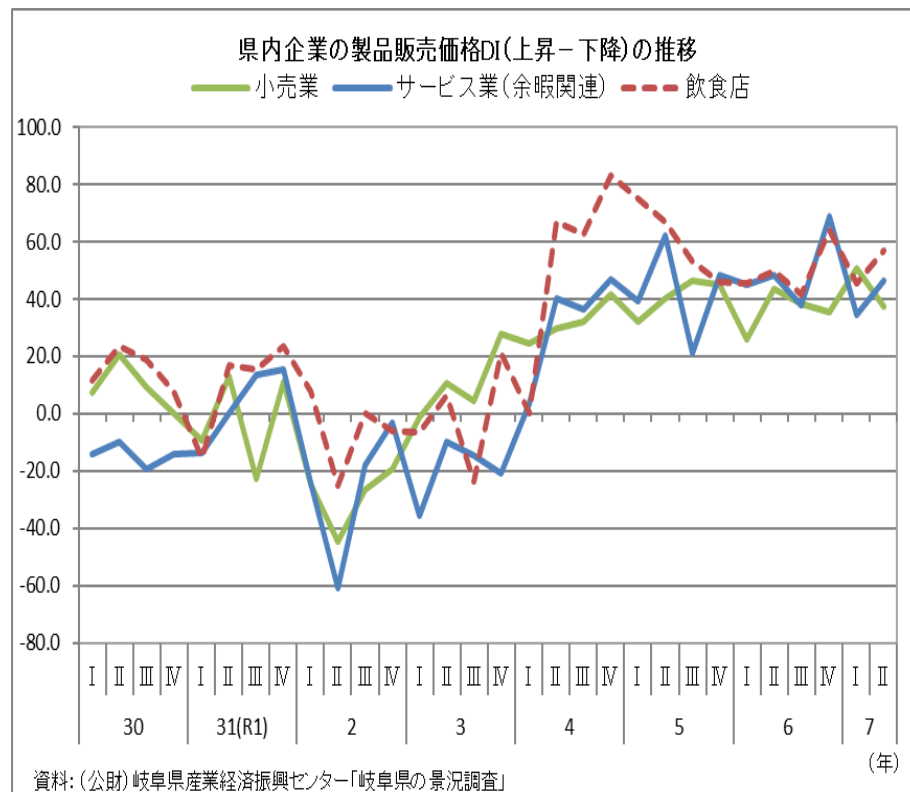
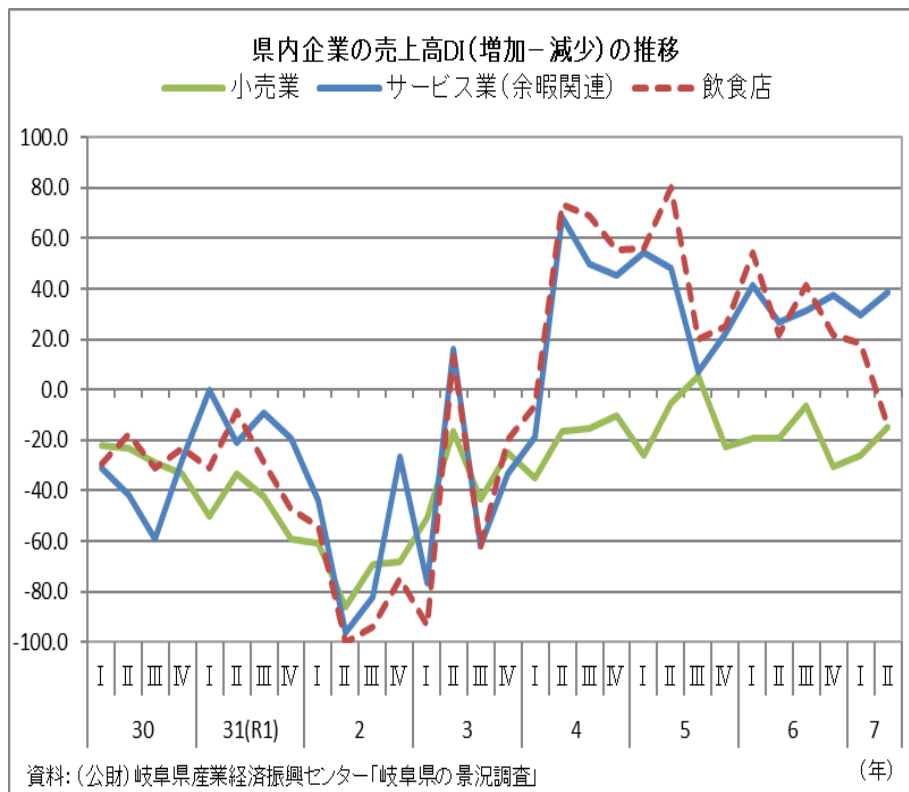


現場の動き

- ◆ 生鮮食料品スーパーは引き続き好調に推移している。
- ◆ 価格転嫁はできており、客単価は上がっているが、客数は落ちている。
- ◆ 今後も値上げが予測されるため、来客数が減らなければ、売上は昨対を超える見込み。(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

- 4－6月期の売上高DI実績は、小売業で前期比11.4ポイント、サービス業(余暇関連)で同8.8ポイント上昇した一方で、飲食店で同▲32.5ポイントとなった。
- 同じく販売価格DI実績は、飲食店で前期比11.7ポイント、サービス業(余暇関連)で同11.6ポイント上昇した一方で、小売業で同▲13.4ポイントとなった。



現場の動き

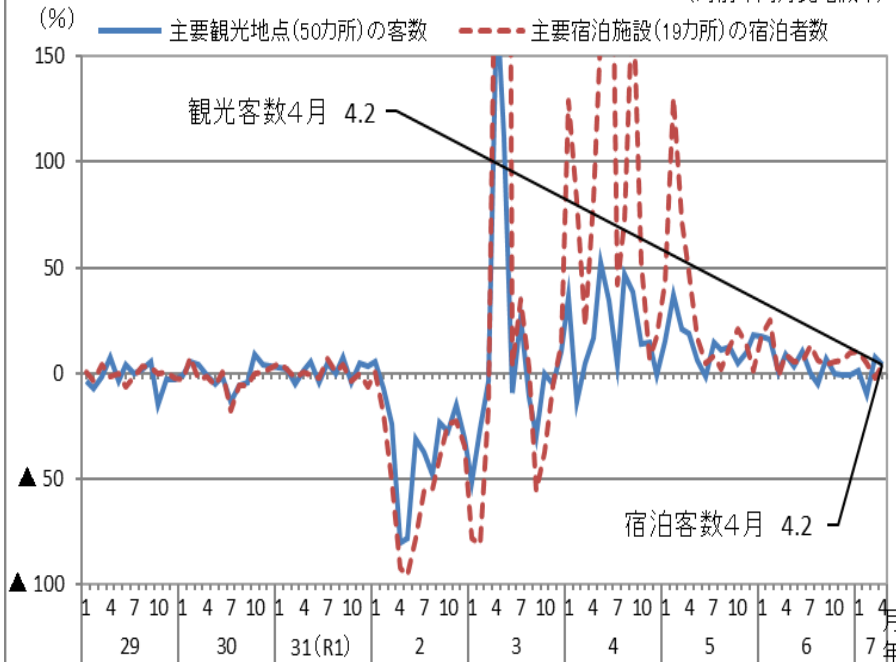
- ◆ GWの観光客入込数は好調。国内の観光客が多かったが飲食、特に食べ歩きが好調でお土産など物販は厳しい状況。(高山市商店街)
- ◆ 4月からは酒類の値上げ、6月には食料品の値上げで、今後も物価上昇の傾向は継続すると思われるが、顧客の買い置きや買い控えといった感じは見られなかった。(多治見市商店街)

観光

○主要観光地における4月の観光客数は、前年同月比4.2%増、コロナ前の令和元年同月比では、9.8%減となっている。

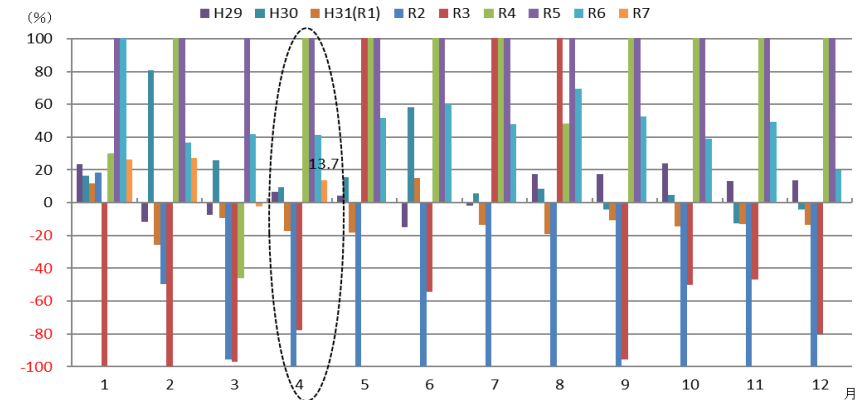
○主要宿泊施設における4月の宿泊者数は、前年同月比4.2%増、令和元年同月比では、10.3%減となっている。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移
(対前年同月比増減率)

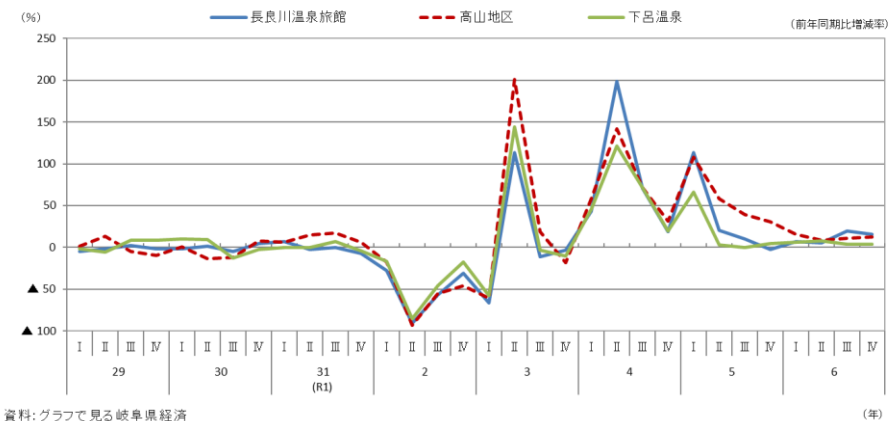


○4月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、27.6%増となっている。

主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

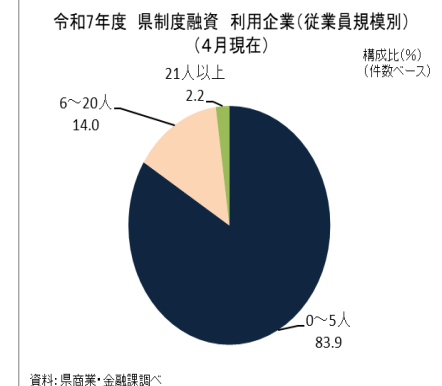
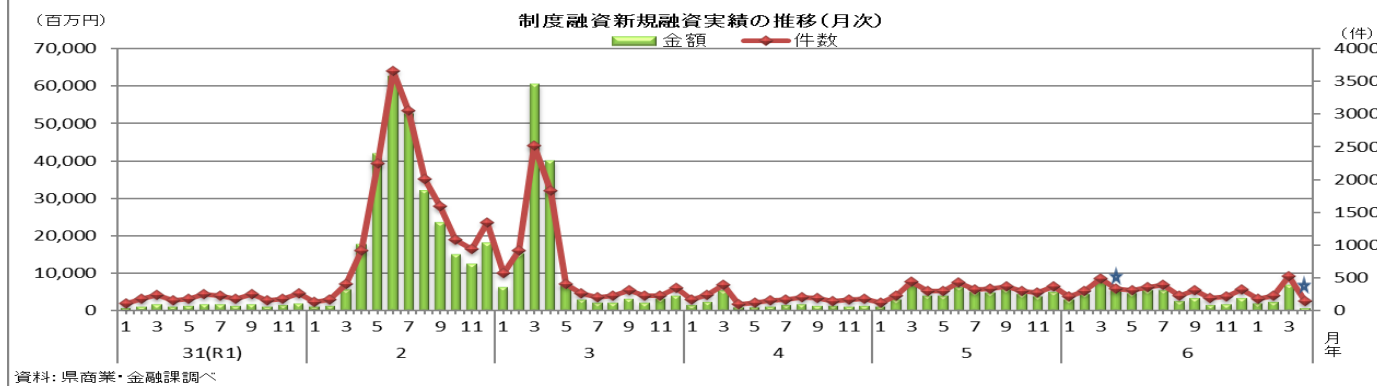
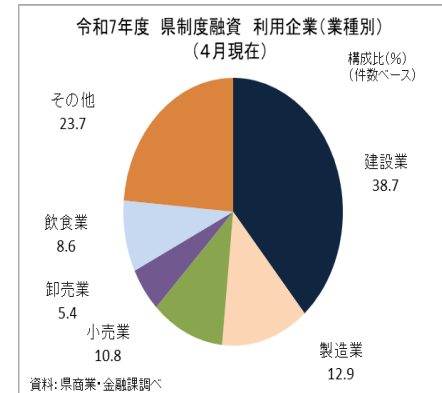
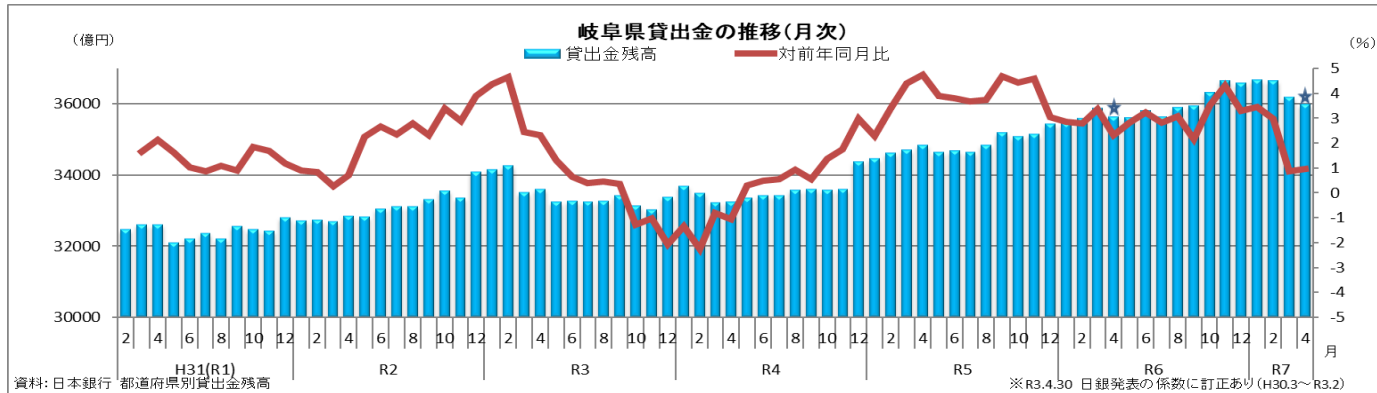


現場の動き

- ◆インバウンドが増加傾向。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(岐阜市、高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆原材料等の物価や仕入れ単価の高止まりが継続。(岐阜市、高山市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 4月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,980億円の前年同月比1.0%増加し、36ヶ月連続で増加。
- 4月の制度融資実績は、金額が905百万円で前年同月比▲84.5%と9カ月連続で減少、件数は144件で同▲57.6%となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の83.9%を占めている。



現場の動き

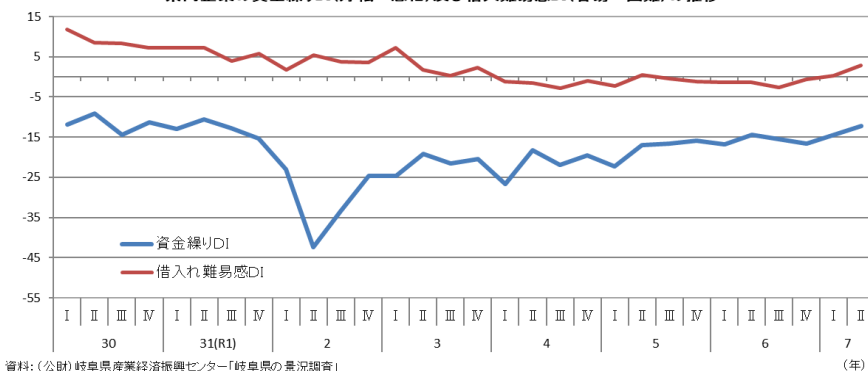
- ◆ 資金需要は特段大きな動きはないが、緩やかに増加している。運転資金の融資が多く、業種による違いは特段ない。
- ◆ 米国関税措置などの不透明な現状があるものの、金利については上昇局面にあると認識している。

(以上、金融機関)

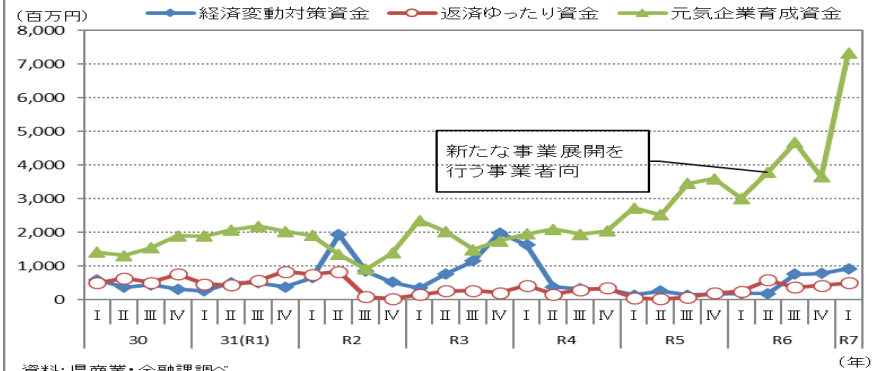
資金繰りー2

- 4－6月期の資金繰りDI実績は▲12.3で、前期比2.1ポイント増加となった。同借入難易感DI実績は2.8で、前期比2.6ポイント増加となった。
- 1－3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比390.2%、返済ゆったり資金で同101.6%増加した。元気企業育成資金では同143.7%増加と12期連続で増加した。
- 4月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が5件で前年同月比▲88.1%、金額149百万円で同▲83.6%となった。
- 4月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は65件で前年同月比▲19.8%、金額は521百万円で同▲30.5%となった。

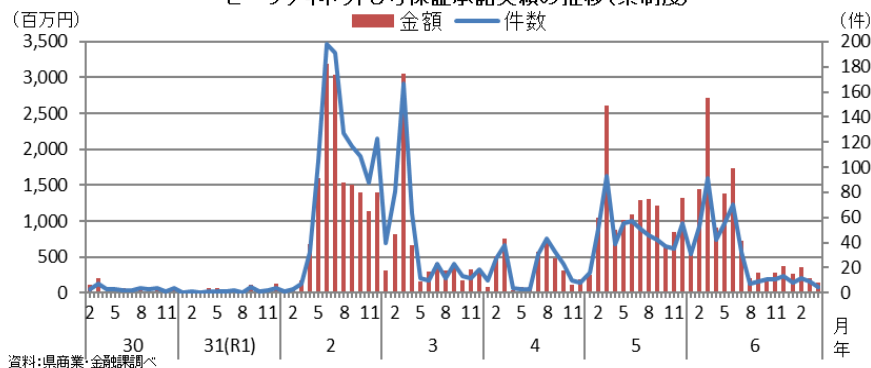
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



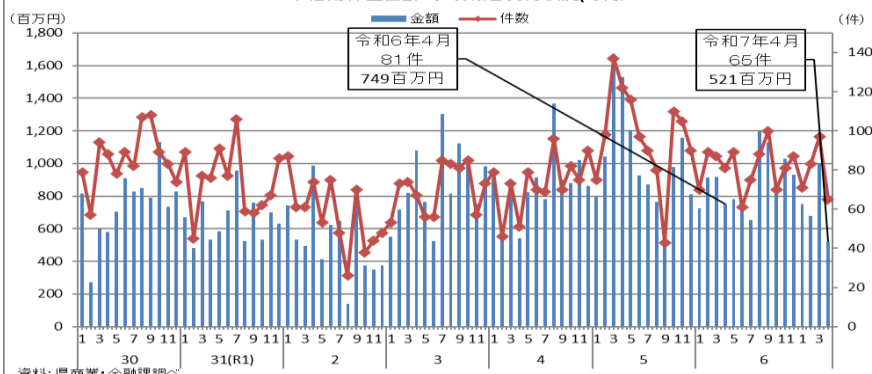
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

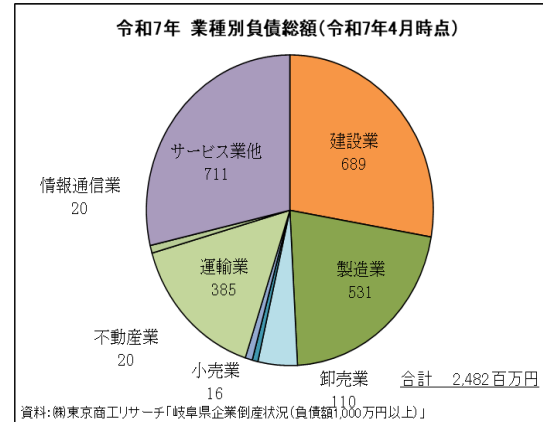
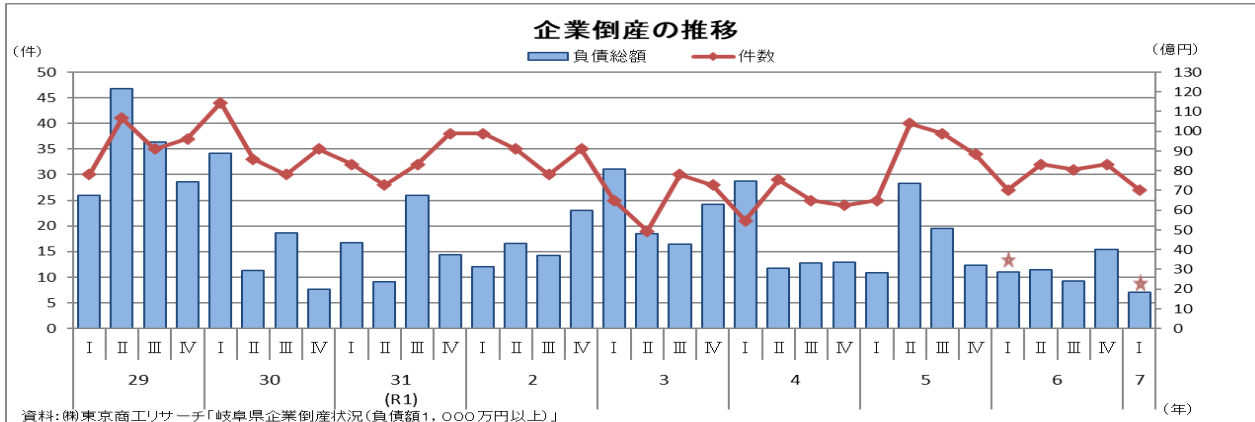
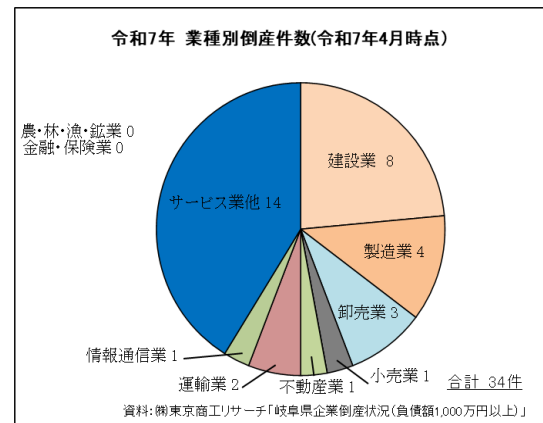
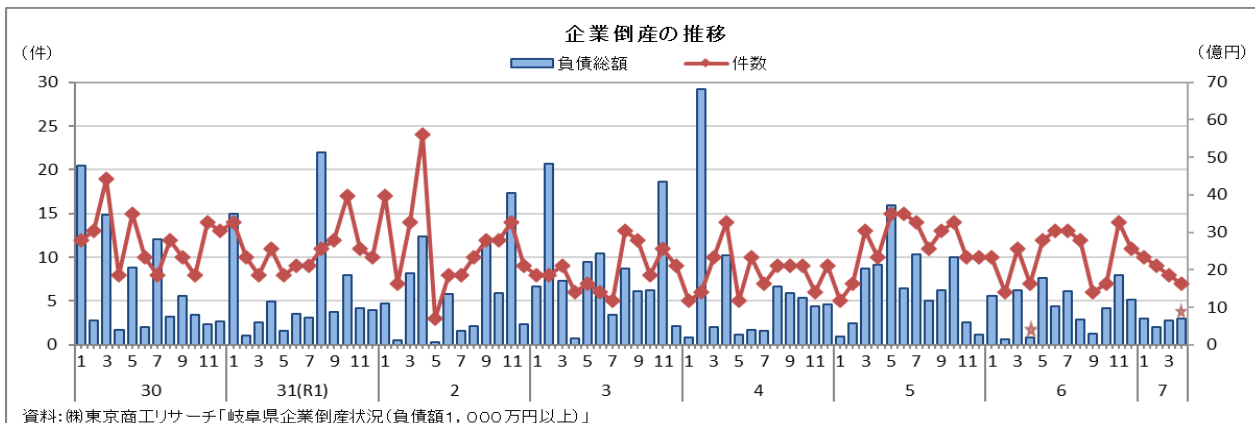


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

- 4月単月の倒産件数は7件、負債総額は前月比47百万円増加の697百万円となった。
- 令和6年4月は負債総額1億円以上の倒産が発生しなかったのに対して、令和7年4月は同倒産2件となった。負債総額は前年同月比503百万円増加となった。



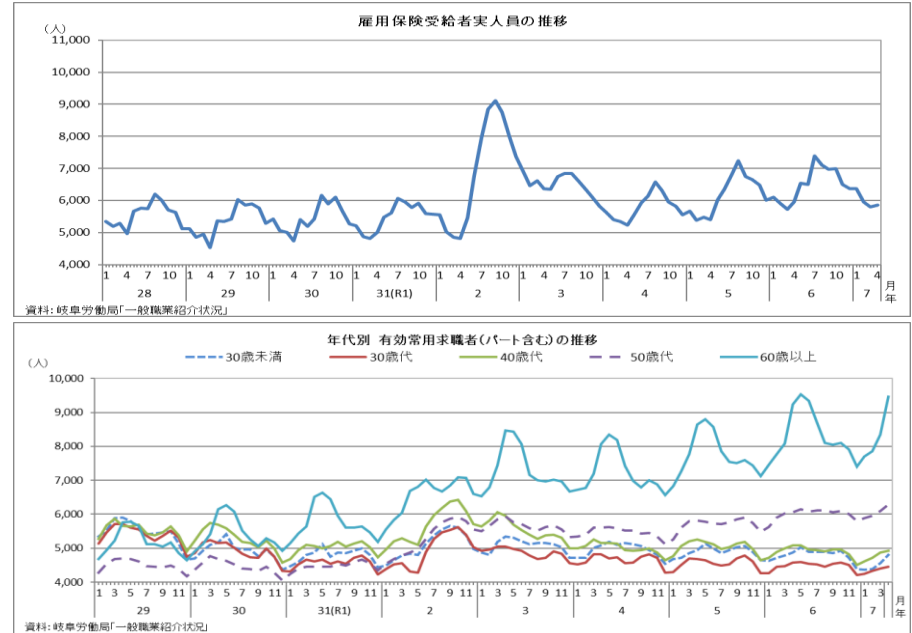
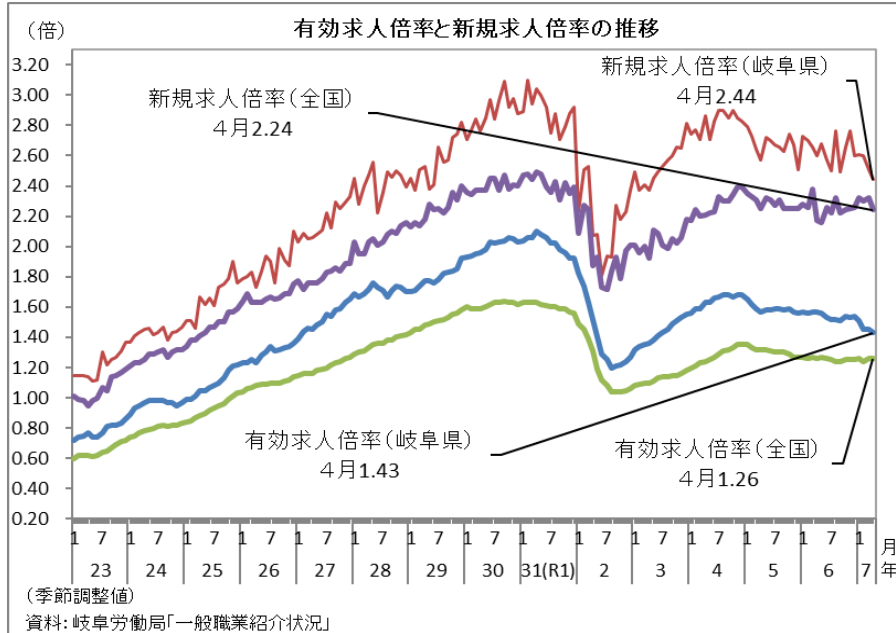
専門機関の分析(東京商工リサーチ・5月15日時点)

- ◆ 経済情勢については、4月2日トランプ米大統領が全世界を対象に相互関税を発表。これを受け外国為替は1ドル145円台まで円高が進んだ。株価もまた世界同時株安になるなど世界経済が翻弄された。このためトランプ政権は90日間の猶予期間を設けることで各国と交渉を進めており、相互関税と為替の影響がどこまで広がるか注意が必要となっている。特に自動車を始めとする輸産業に関連する企業への影響や、今回の相互関税が物価高を一段と押し上げる可能性もあり、先行き不透明感が高まっている。

雇用

- 4月の有効求人倍率は1.43倍と、前月比▲0.02ポイントとなった。
- 4月の新規求人倍率は2.44倍と、前月比▲0.07ポイントとなった。

- 4月の雇用保険受給者人員は、前月比0.8%増加となった。
- 有効常用求職者は、50歳代では26ヶ月連続、60歳代では27ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 新卒採用について、学生側も健康経営優良企業、SDGsへの取組、男性の育休取得率などの観点で企業を見ていると感じており、採用側としても制度の拡充に取り組む必要があると考えている。(輸送用機械)
- ◆ 外国人材活用のため、ボランティア講師による日本語教室を週1回開催している。また、日本語検定に合格することで昇給する制度も導入している。(非鉄金属)
- ◆ 募集に際しては男女関係なく募集しているが女性の応募がなく、新規採用は全て男性である。(輸送用機械)
- ◆ 現状では人手は足りているが、社員の高齢化が進んでおり、今後に向けた求人を行っているものの反応は薄い。(陶磁器)
- ◆ 従業員の年齢層が高いのが課題。20代30代が欲しいがその世代の離職率も高いので難しい。(輸送用機械)

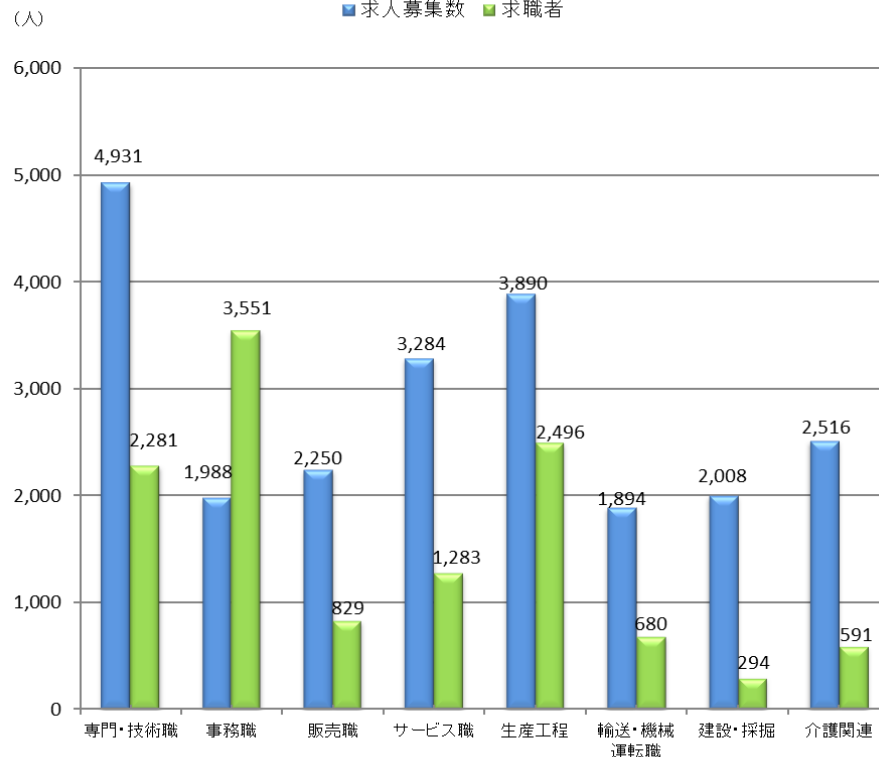
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で6.83倍、介護関連で4.26倍、販売職で2.71倍、サービス職で2.56倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.56倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

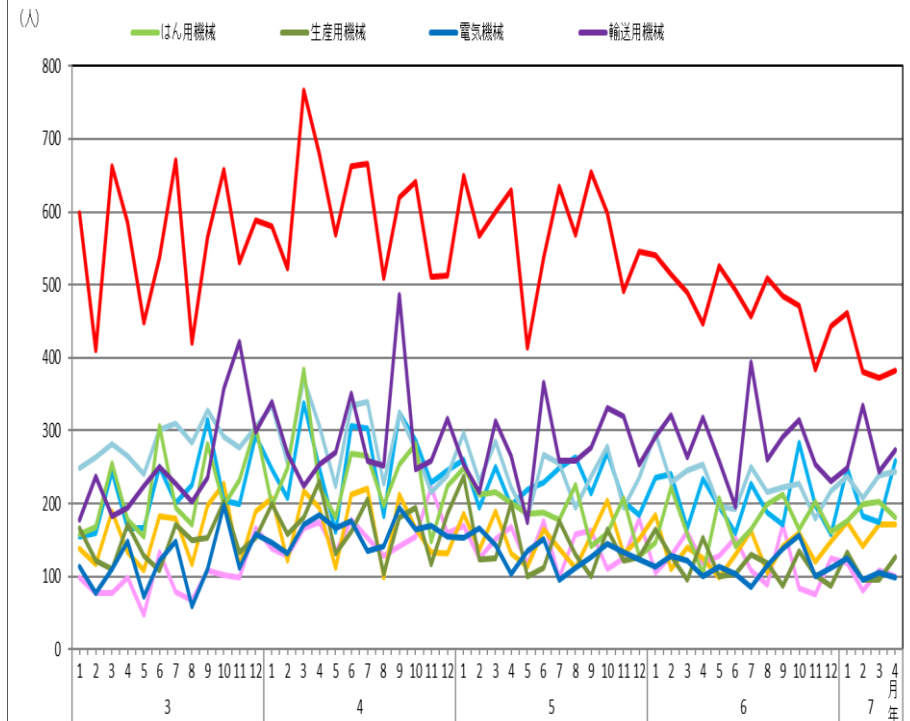
○2月の主要産業別の新規求人数は、はん用で前年同月比74.0%、プラスチック製品で同37.6%、窯業・土石で同10.3%増加した一方で、生産用機械で同▲17.0%繊維工業で同▲15.1%、食料品製造で同▲14.5%、輸送用機械で同▲14.2%、金属製品で同▲4.0%、電気機械で同▲1.0%となった。

4月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



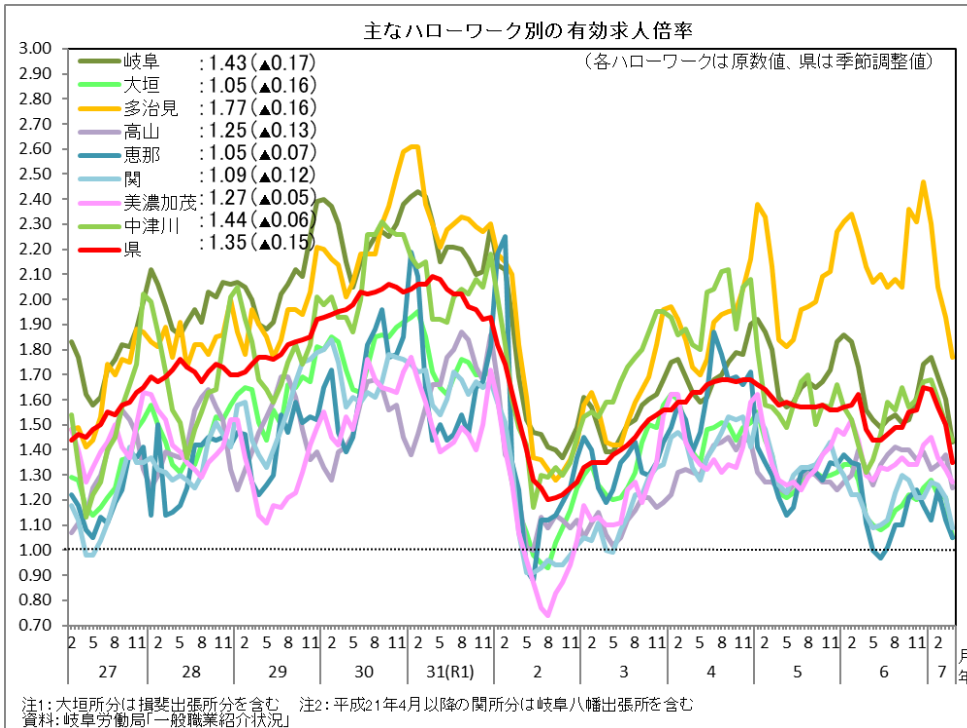
資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)



○4月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、全地点で前月比減少となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

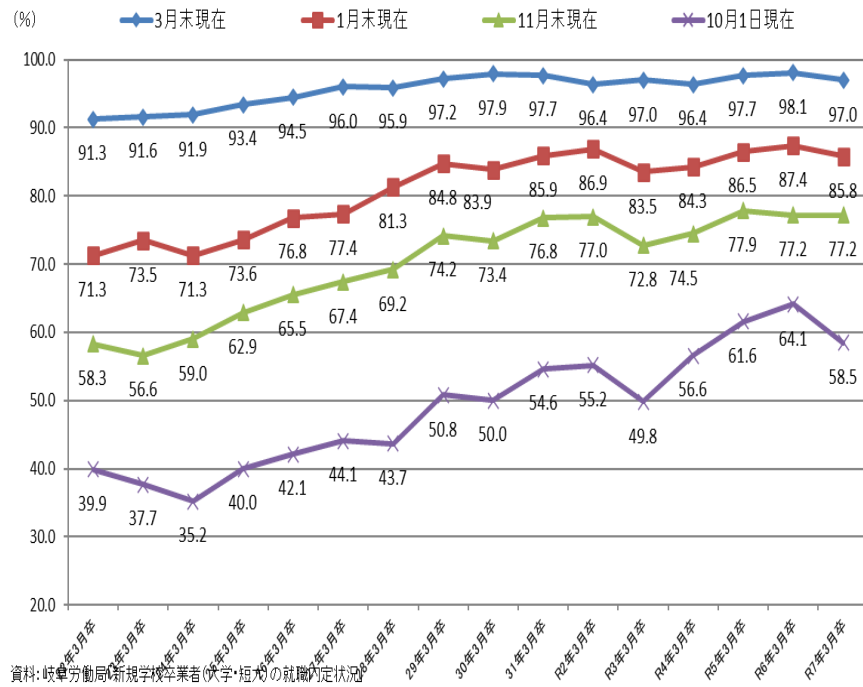
- ◆岐阜、高山で混雑している、大垣、多治見、関、美濃加茂でやや混雑している、恵那、中津川で同じくらいの状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

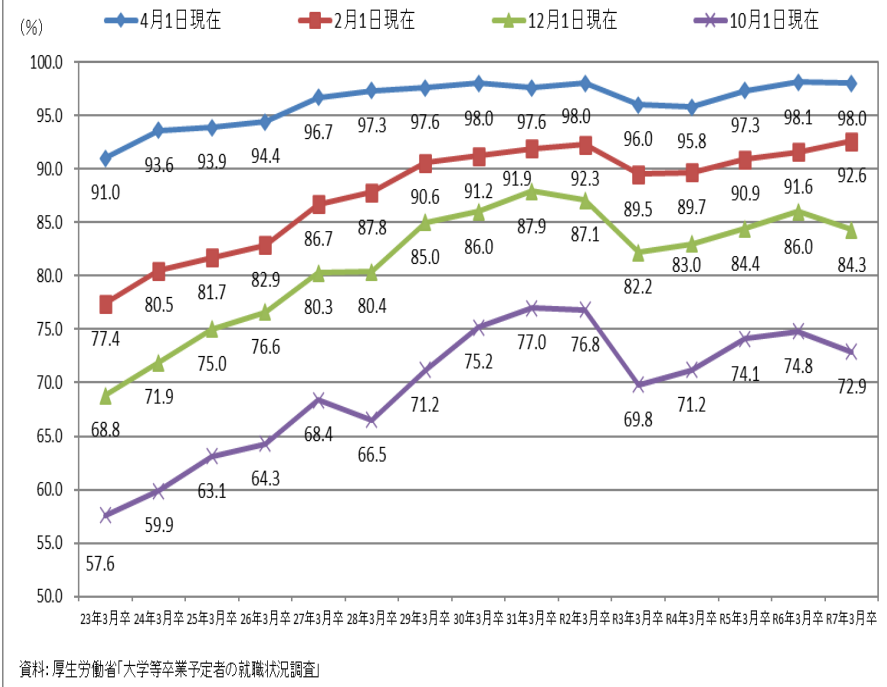
○岐阜県の令和7年3月末現在の大学・短大卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は、97.0%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月1日現在の大学卒業者(令和7年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

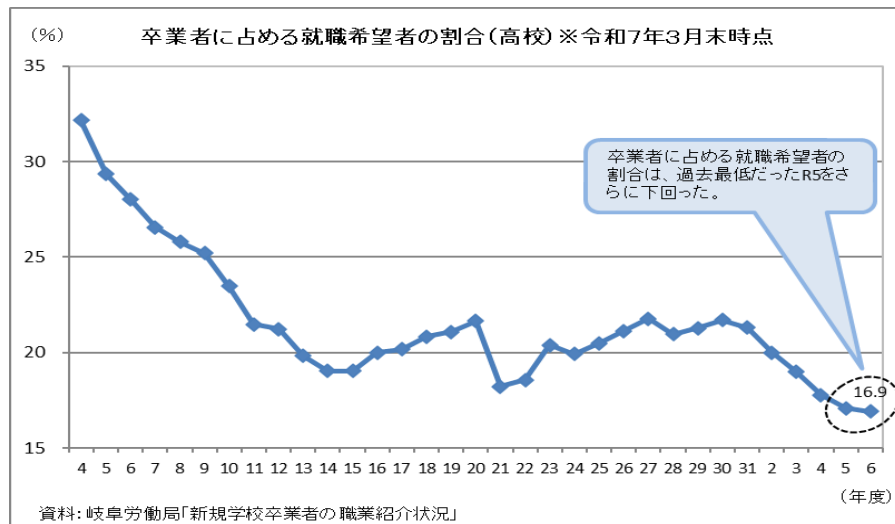
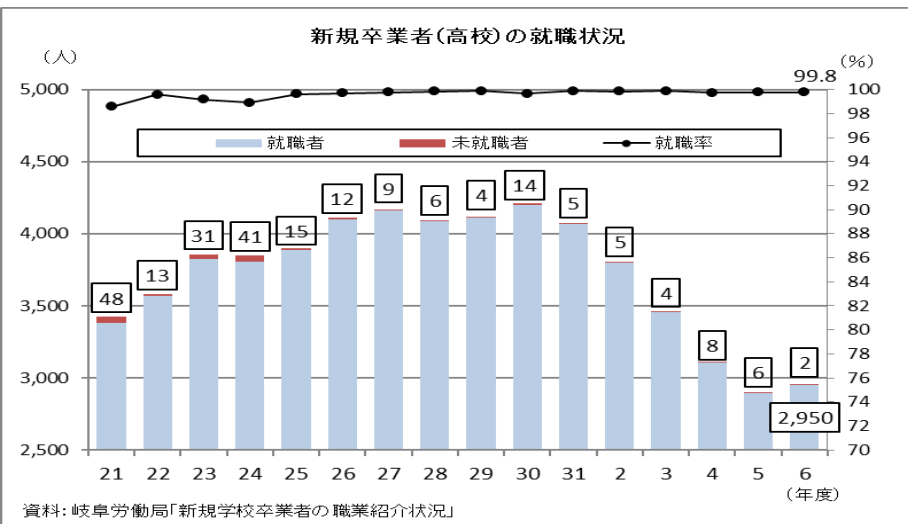
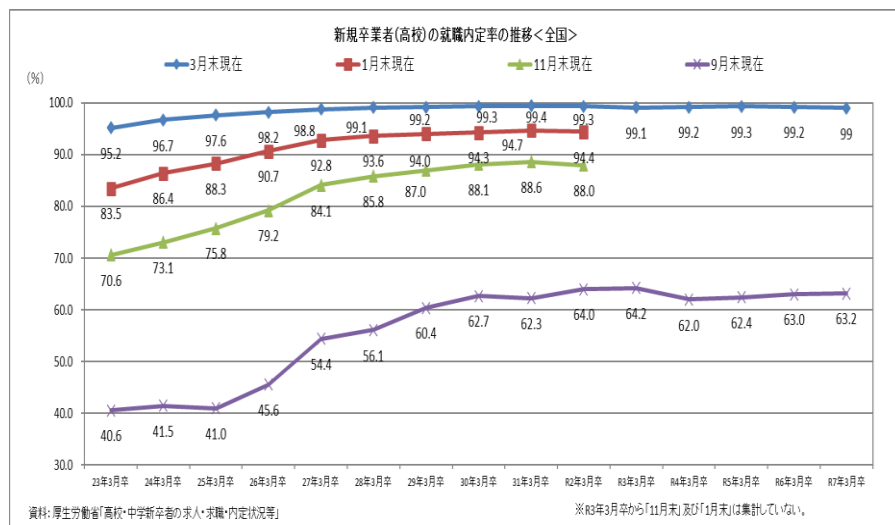
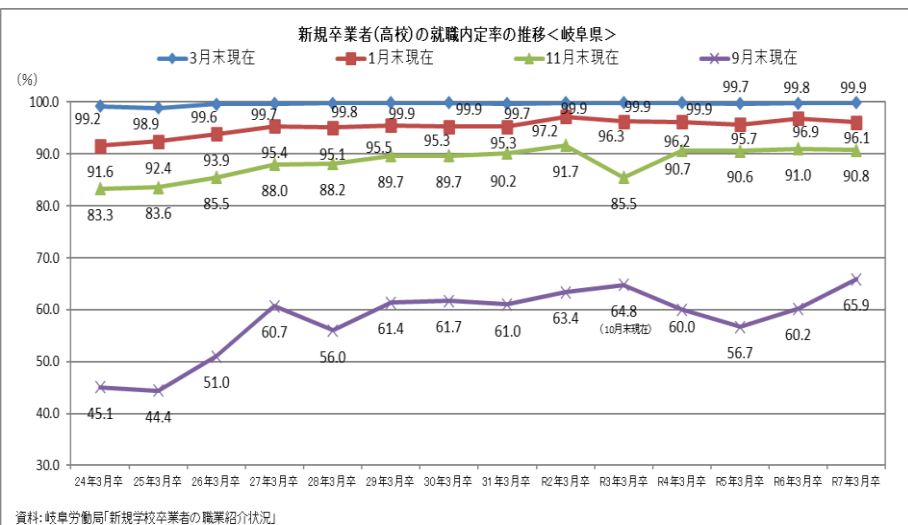
<大学へのヒアリング>

- ◆ 26年卒からの相談は内定のある学生が増えたため、落ち着いてきた。内定の承諾先を迷う学生の相談と、内定が出ていない学生への支援の2パターンに分かれている。
 - ◆ 27年卒からの相談は徐々に増えてきた。就活の進め方、夏のインターンシップ先企業の選び方、インターンシップ先へ提出する書類添削がメインの相談である。
- (以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和7年3月末現在の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月末時点の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.0%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントとなった。



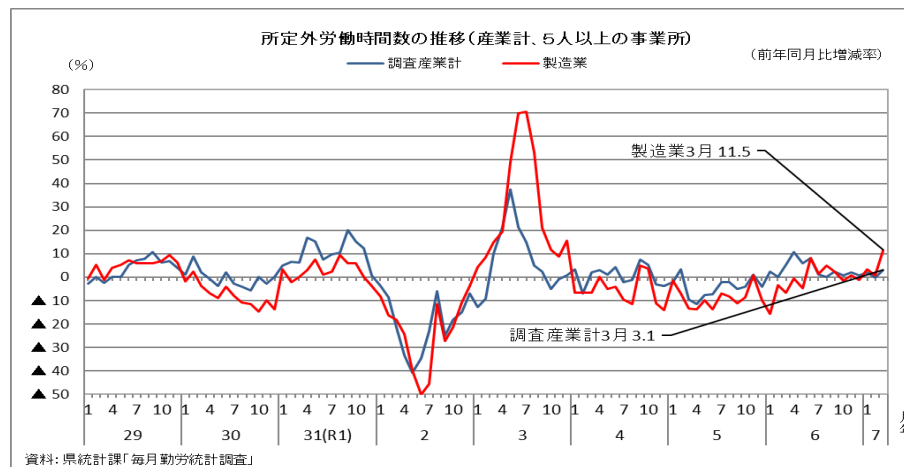
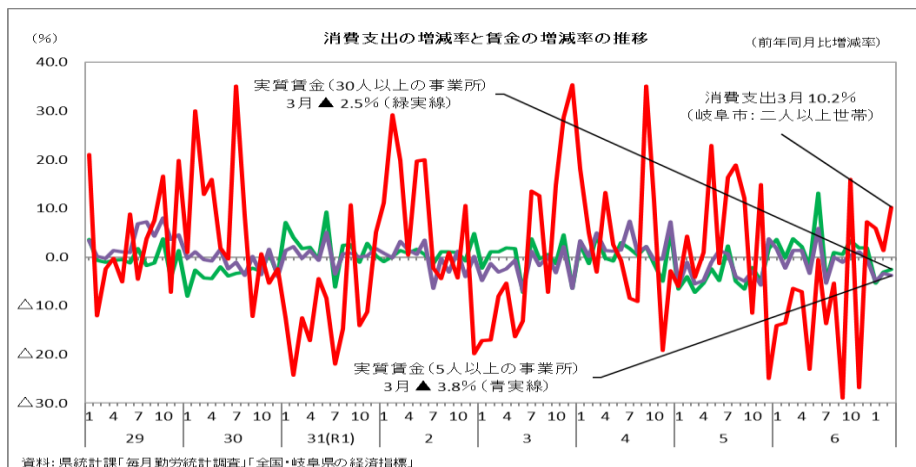
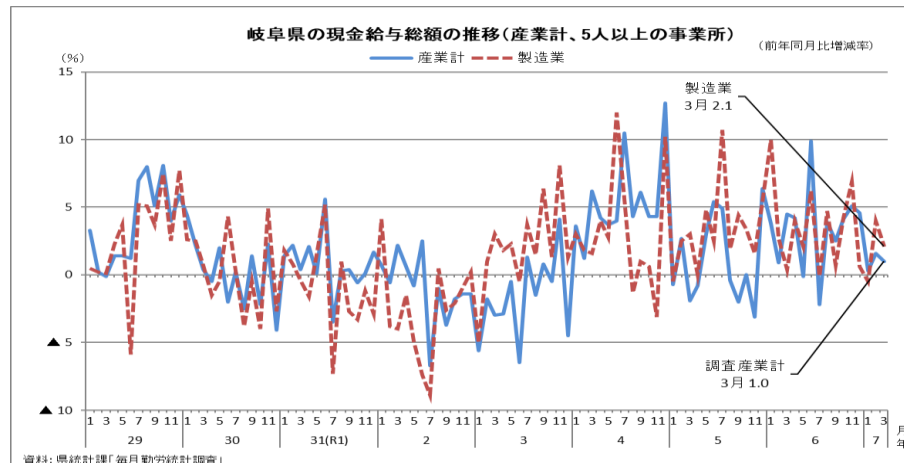
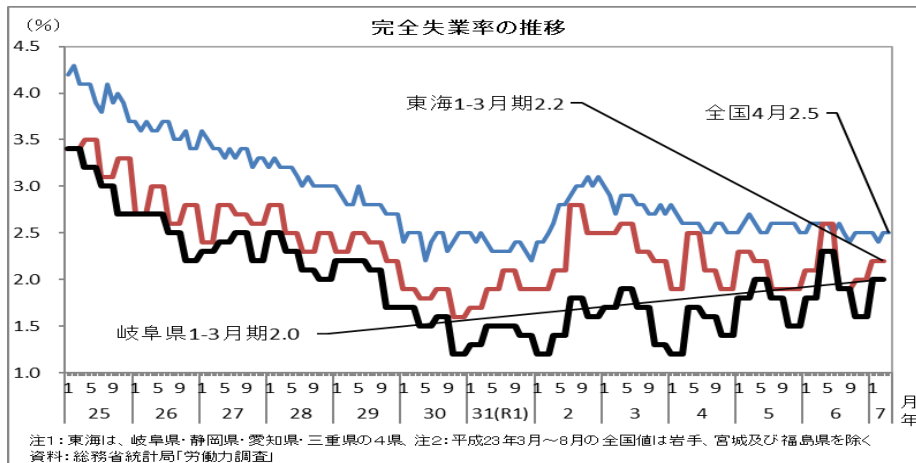
雇 用(完全失業率等)

○全国の4月の完全失業率は2.5%で前月同比となった。岐阜県の1-3月期の平均は2.0%で前期比0.4%上昇となった。

○3月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比1.0%、製造業で同2.1%上昇となった。

○3月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲2.5%、5人以上で▲3.8%となった。3月の消費支出については同10.2%増加となった。

○3月の所定外労働時間数は前年同月比で3.1%増加となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、3月の鉱工業生産指数は前月比3.8%上昇となった。ヒアリングでは、アメリカ向けは減っており、全体としては横ばいとの声や、精密プレス部品事業については金属プレス部品の受注が減っているため撤退し、プラスチック成型事業に業務を集中させることとしたとの声が聞かれた。
- 地場産業は、3月の鉱工業生産指数は、木材・木製品、食料品、家具、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、販路拡大やインバウンドの需要が好調なことを背景に、売上は増加傾向にあるとの声が聞かれる一方で、キャラクター製品が比較的売れているが高価格帯製品の売れ行きが良くないため、売上は前年比で減少し、利益面も赤字となったとの声が聞かれた。
- 設備投資は、4月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比7.7%増加となった。ヒアリングでは、大きな動きはなく、IT投資など事業効率化を目的とした積極的な投資はあまり見られない印象との声や、大きな設備投資が終わったため、しばらくは大規模な設備投資の予定はないとの声が聞かれた。
- 個人消費は、4月の販売額は、全体で前年同月比2.3%増加となった。ヒアリングでは、生鮮食料品スーパーは引き続き好調に推移しているとの声や、価格転嫁はできており、客単価は上がっているが、客数は落ちているとの声が聞かれた。
- 観光は、インバウンド客の増加等により、観光客数、宿泊者数ともに前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、観光客数、宿泊者数ともにコロナ前の約9割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、4月の制度融資実績は金額で9ヶ月連続で減少となった。資金需要について特段大きな動きは無いが、運転資金の需要は多く、緩やかに増加しているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、4月の有効求人倍率は1.43倍と前月比▲0.02ポイントとなった。ヒアリングでは、新卒採用について、学生側も健康経営優良企業、SDGsへの取組、男性の育休取得率などの観点で企業を見ていると感じており、採用側としても制度の拡充に取組む必要があると考えているとの声や、募集に際しては男女関係なく募集しているが女性の応募がなく、新規採用は全て男性であるとの声、現状では人手は足りているが、社員の高齢化が進んでおり、今後に向けた求人を行っているものの反応は薄いとの声が聞かれた。